

Happy Father's Day

June 16, 2024 (Sunday)/ 11:00AM~

🌻PROGRAM🌻

司会者: 豊岡まなみ姉

開会の祈り: 篠田春美姉

賛美 大いなる方に/Give thanks: ピアノ チョンハンナ姉

絵本「さいこうのおとうさん」: ゆかいな仲間たち

[田地井賢一兄、チャン有利姉、チョンハンナ姉

LI Hsm(れい姉)、頼采辰姉、高木千恵姉]

父の日エピソード: ①高木牧人先生

②吉田順治兄

③鈴木光一兄

特別賛美 父の涙・シオンへの道: 織田恭博先生

お楽しみゲーム: 河香織姉

閉会の祈り: 島田シリア姉



去る父の日には礼拝の後、婦人会主催で祝会をし、男性陣に感謝を表わそうということになりました。メインプログラムとしては、高木千恵牧師夫人の案で「さいこうのお父さん」という絵本のページを部屋の真ん中の画面に映して役割をになった教会員が読む、という出し物となりました。多くの教会員が練習しなかったのにもかかわらず、自分のパートのセリフを上手にこなして、かわいい子供向き絵本から最高のお父さんである父なる神様をたたえることができました。



そのあと、3人の方々によって今回初めて父として父の日を迎えた高木牧師、2人目のお孫さんの祖父となられた兄弟、また自分のお父さんが召される直前にクリスチャンとなられた方、計3人の尊いお証も心打たれるものでした。

そして父の日にはなくてはならぬ岩淵まこと師の「父の涙」は、幸いにも特別出演で（かつての）ゴスペルバンド：メッセンジャーズリーダー、織田恭博師によって賛美されました。





そのほかゲームがあり、ハイライトはみことばのお便りがついた美味しいお弁当の差し入れでした。酢飯の具合、かんぴょうやお揚げの味加減もこんなに美味しい巻きずしやおいなりさんは食べたことがないというような味でした。以下がお弁当に添えられていたそのお便りです。

「主にあって、一つの家族の皆様へ

“主の聖徒よ、主を誉め歌い、その聖なる御名に感謝せよ、その怒りはつかのまで、その恵みは命の限り長いからである。夜は夜もすがら、泣き悲しんでも、朝と共に喜びが来る。”

この詩篇30：4，5は私達の母が愛した聖句のひとつです。

速きもので、脳卒中で倒れてからもうすぐ2年になります。今は車椅子生活ですが、史子さんの心からの介護で、毎日曜日、主の前に礼拝できる恵と哀れみに感謝のかぎりです。礼拝後、多くの方々が見送りに出てください、まるで有名人並みです。教会の愛のある家族に私からの感謝として父の日のお祝いにお弁当を用意させていただきました。今は日本とロサンゼルスを往復させていただいています。これも主の哀れみ、命の限りの喜びです。続けて救お祈りをお願いいたします。心から感謝いたします。

在主 吉野順子



教会は主の愛の集まりであることをつくづく感じたひとときでした。また男性には強制的に手作りブートニアをつけていただいてこの日は男性方に主賓であること、父親であることの恵みを再確認していただいた次第です。

註：織田泰博師：1973年大学生だった織田師と3人の仲間は、ザ・メッセジャーズという福音伝道のためのゴスペルバンドグループを結成。アメリカ留学を終えて帰国後、日本中の教会やミッションスクールで音楽を通して伝道する。その後タルボット神学校卒、ミシガン州で日本人教会設立。カリフォルニア州ゴスペルベンチャーインターナショナル教会副牧師、音楽主事をへて今後はフリーで讃美活動を開始予定



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

メール oriochurch@outlook.jp

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00) URL <http://www.oriochristianchurch.net>